

Change ! Challenge ! Manage!!

知財業界を中長期的な視点で考察し、 将来の知財マネジメントに向けた提言を行う

マネジメント第1委員会 委員長

渡邊 潤 氏

(所属：株式会社ブリヂストン)

マネジメント第2委員会 委員長

江坂 文明 氏

(所属：マクセル株式会社)



interview

自己紹介

渡邊：探索事業の知財戦略立案と出願権利化の仕事をしています。JIPA活動は、特許委員会（2010-13年）、マネジメント委員会（2019年より）です。趣味は、料理と位置情報ゲームをしながらのウォーキングです。

江坂：知財開発、活用を中心に知財業務全般に関わっています。JIPA活動はソフトウェア委員会（2006-07）、マネジメント第1（2015-18）、マネジメント第2（2023年より）です。趣味は、セローで林道巡り、ウクレレのお気楽演奏、2nd Life準備です。

Q 研究テーマとそれらを選んだ背景・理由は？

マネジメント委員会は第1・第2の2つの委員会が一体となり、時代に応じた「経営に資する知財マネジメント」を探索しています。「日本の産業競争力向上のための知財施策」と「知財経営を推進するための企業の実践的な施策」の調査・研究を行い、結果を発信することを委員会のミッションとし、研究テーマは、あるべき知財戦略、マネジメント、人材育成、知財組織の各領域において実践的な提言につながる9つのテーマを選定しています。

Q 委員会の特長／魅力は？

マネジメント委員会は各社の知財運営を担う部課長層が参加しており、知財経験値、年齢層が他の専門委員会より高めです。

様々な業種の部課長層との交流は自社の知財部運営に関する色々な気づきをもたらします。近年は、次代の部課長を担う若手の参加も増えていますが、マネジメント委員会を有望な若手を更に成長させる場と捉えている企業も増えてきていると感じます。

各社において自ら課題を見出し組織運営を改善してきた方々の集まりであることから、委員会運営も年々改善が図られ、システムチックでありながら自由闊達な議論を行える環境を構築しています。9つのテーマ毎に分かれた活動が中心にはなりますが他のテーマへの関与も可能で委員会全体で一体感を持って9テーマに取り組んでいます。この状態を“One Manage!”と表現しています。

楽しむことが成果につながる経験をしてきた方々の集まりです。メンバーが楽しむことのみならず自らも楽しむことがテーマの検討を深めると信じて動く参加者が多いです。楽しみつつ難解なテーマを一応の形にしたてあげる。そんな委員会です。

Q 委員会としてのこだわりは？

Change ! Challenge ! Manage!!マネジメント委員会は一言でいうと『面白い』委員会であることに拘っています。時流に沿ったテーマ検討や趣向を凝らした委員会運営によりダイナミックな研究・提言活動ができるとともに、なにより能力が高く個性的で魅力的な人材の宝庫です。皆さんも生涯の友人・知人・飲み友達を見つけてみませんか！

以上